



## 平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス

コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 堀田 欣弘

TEL 03-3254-2501

四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	2,562	11.2	438	△7.5	437	△7.3	348	△17.9
27年2月期第2四半期	2,304	9.3	473	7.0	471	7.0	424	6.8

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 346百万円 (△17.7%) 27年2月期第2四半期 420百万円 (5.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	12.40	—
27年2月期第2四半期	14.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	4,984	4,350	87.2	156.41
27年2月期	5,159	4,465	86.6	156.71

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 4,347百万円 27年2月期 4,465百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,417	11.9	1,000	4.8	997	4.2	804	△6.1	28.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	33,637,249 株	27年2月期	33,637,249 株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	5,844,056 株	27年2月期	5,144,056 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	28,095,367 株	27年2月期2Q	28,761,888 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

当社は、以下のとおり投資家説明会を開催する予定です。

この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成27年10月16日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和の継続による円安・株高傾向を背景に、企業収益の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外経済動向の影響の懸念や国内における個人消費の伸び率の鈍化、円安に伴う物価上昇など持ち直しの動きに遅れが見られ、先行き不透明な状況が続いております。

雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲の回復傾向は継続しており、当社の戦略地域である静岡県においては平成27年8月度の有効求人倍率は1.18倍となっており、緩やかながらも上昇が継続しておりますが、全国有効求人倍率と比較し0.05ポイント下回っております。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力いたしました。

当社の主力事業である求人情報事業では、人員等の増員により営業力の強化を図り、地域競争力の強化に努めました。また、紙媒体（『DOMO（ドモ）』・『求人あどむ』）、ネットサービス（『DOMO NET（ドモネット）』・『JOB（ジョブ）』・『TSUNORU（ツノル）』）、リアルイベント（『シゴトフェア』）、人材紹介等多様な商品ラインナップを揃え、お客様の様々な求人ニーズに応えるべく人材サービスの拡大・拡充に努めました。

ペット関連事業では、ペット関連情報誌『WONDERFUL STYLE（ワンダフルスタイル）』において、ユーザー満足度の向上を図るため2015年6月にリニューアルをいたしました。また、関連イベントである『DOG！（ドッグ）フェスタ』が、当第2四半期連結累計期間における静岡県内東部地区及び中部地区での開催により継続開催数が10回となり、地域に根差したペット関連イベントとしての認知が定着してまいりました。

当連結会計年度より開始しました外国人採用支援事業では、日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマーJobFair（ジョブフェア）』を平成27年5月に開催しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は2,562百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。売上原価は、775百万円（前年同四半期比19.3%増）、販売費及び一般管理費は、1,348百万円（前年同四半期比14.3%増）となりました。前連結会計年度に取得した子会社や販促支援事業の増収があったものの、営業力強化のための人件費等や当該子会社に係る費用が増加したため営業利益は438百万円（前年同四半期比7.5%減）、経常利益は437百万円（前年同四半期比7.3%減）、四半期純利益は348百万円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

#### （情報提供事業）

情報提供事業では、既存商品である『DOMO』、『DOMO NET』及び『JOB』の販売は横ばいに推移したものの、前連結会計年度に取得した子会社が発行する合同求人チラシ『求人あどむ』の販売が寄与し、売上高は2,072百万円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント利益は674百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。

#### （販促支援事業）

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において既存顧客における掲出量の増加傾向は継続しており、販売は好調に推移いたしました。また、関西以西への販路拡大による販売増加、ダイレクトプロモーションにおける顧客獲得が順調に進んだことも寄与し、販促支援事業における売上高は508百万円（前年同四半期比20.7%増）、セグメント利益は86百万円（前年同四半期比34.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,984百万円（前連結会計年度末比3.4%減）、負債が633百万円（前連結会計年度末比8.7%減）、純資産が4,350百万円（前連結会計年度末比2.6%減）となりました。また、自己資本比率は87.2%となりました。

資産の部では、流動資産が4,110百万円（前連結会計年度末比4.1%減）となりました。内訳として、現金及び預金が3,217百万円（前連結会計年度末比1.5%減）、営業債権（受取手形及び売掛金）が548百万円（前連結会計年度末比12.2%減）等となったためです。

固定資産は873百万円（前連結会計年度末比0.3%増）となりました。内訳として、有形固定資産が627百万円（前連結会計年度末比0.3%増）、無形固定資産が75百万円（前連結会計年度末比5.7%減）、投資その他の資産が171百万円（前連結会計年度末比3.1%増）となったためです。

負債は633百万円（前連結会計年度末比8.7%減）となりました。これは、未払金が371百万円（前連結会計年度末比1.5%減）、賞与引当金が95百万円（前連結会計年度末比2.2%増）等となったためです。

純資産は4,350百万円（前連結会計年度末比2.6%減）となりました。これは、四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,350百万円（前連結会計年度末比2.2%増）、自己株式の取得により自己株式が1,005百万円（前連結会計年度末は792百万円）となったためです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて48百万円減少し、3,217百万円となりました。

(a) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、443百万円（前年同四半期は409百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が437百万円、減価償却費が26百万円、売上債権の減少額が76百万円等となった一方で、未払消費税等の減少額が56百万円等となったためです。

(b) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、22百万円（前年同四半期は82百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が12百万円、敷金及び保証金の差入による支出が5百万円、有形固定資産の取得による支出が4百万円等となったためです。

(c) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、469百万円（前年同四半期は408百万円の支出）となりました。これは、自己株式の取得による支出が215百万円、配当金の支払額が254百万円となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期業績予想につきましては、平成27年4月14日付「平成27年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,266,361	3,217,772
受取手形及び売掛金	625,130	548,576
その他	397,022	345,170
貸倒引当金	△622	△622
流動資産合計	4,287,892	4,110,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	158,274	156,202
土地	444,475	444,475
その他(純額)	22,574	26,611
有形固定資産合計	625,324	627,289
無形固定資産		
ソフトウェア	69,289	64,770
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	79,895	75,377
投資その他の資産		
その他	167,888	174,022
貸倒引当金	△1,891	△2,941
投資その他の資産合計	165,997	171,080
固定資産合計	871,216	873,746
資産合計	5,159,108	4,984,644
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	377,241	371,410
未払法人税等	60,677	55,048
賞与引当金	93,272	95,291
その他	161,552	109,181
流動負債合計	692,744	630,931
固定負債		
繰延税金負債	1,083	2,721
固定負債合計	1,083	2,721
負債合計	693,827	633,653
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	4,258,203	4,350,279
自己株式	△792,505	△1,005,875
株主資本合計	4,462,121	4,340,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,159	6,534
為替換算調整勘定	—	△37
その他の包括利益累計額合計	3,159	6,497
少数株主持分	—	3,666
純資産合計	4,465,281	4,350,990
負債純資産合計	5,159,108	4,984,644

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	2,304,274	2,562,926
売上原価	649,959	775,598
売上総利益	1,654,314	1,787,327
販売費及び一般管理費	1,180,347	1,348,996
営業利益	473,967	438,331
営業外収益		
受取利息	348	345
受取賃貸料	422	420
為替差益	—	1,101
その他	472	2,159
営業外収益合計	1,242	4,026
営業外費用		
自己株式取得費用	1,905	1,931
投資事業組合運用損	1,051	1,911
違約金	151	1,345
その他	789	42
営業外費用合計	3,897	5,231
経常利益	471,312	437,126
税金等調整前四半期純利益	471,312	437,126
法人税、住民税及び事業税	43,353	50,662
法人税等調整額	3,689	43,458
法人税等合計	47,042	94,120
少数株主損益調整前四半期純利益	424,270	343,005
少数株主損失(△)	—	△5,508
四半期純利益	424,270	348,514



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	424,270	343,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,410	3,374
為替換算調整勘定	—	△62
その他の包括利益合計	△3,410	3,312
四半期包括利益	420,859	346,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420,859	351,851
少数株主に係る四半期包括利益	—	△5,533

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	471,312	437,126
減価償却費	29,175	26,241
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△477	1,049
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,213	2,018
受取利息及び受取配当金	△348	△347
投資事業組合運用損益(△は益)	1,051	1,911
売上債権の増減額(△は増加)	67,465	76,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	480	1,759
未払債務の増減額(△は減少)	△3,482	△8,278
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,594	△56,674
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	845
その他	△47,888	14,183
小計	501,670	496,390
利息及び配当金の受取額	425	365
法人税等の支払額	△92,409	△53,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	409,686	443,025
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,142	△4,307
有形固定資産の除却による支出	△1,958	—
無形固定資産の取得による支出	△15,276	△12,698
敷金及び保証金の差入による支出	△46,227	△5,899
敷金及び保証金の回収による収入	1,711	85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,893	△22,820
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△176,597	△215,456
配当金の支払額	△231,684	△254,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408,282	△469,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1,039
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△81,489	△48,588
現金及び現金同等物の期首残高	2,968,701	3,266,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,887,212	3,217,772

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、平成27年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が213,369千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において1,005,875千円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,896,572	407,701	2,304,274	—	2,304,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	13,473	13,553	△13,553	—
計	1,896,652	421,175	2,317,827	△13,553	2,304,274
セグメント利益	747,444	64,101	811,546	△337,579	473,967

(注) 1. セグメント利益の調整額△337,579千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△339,799千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,072,230	490,695	2,562,926	—	2,562,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	17,753	17,821	△17,821	—
計	2,072,298	508,449	2,580,748	△17,821	2,562,926
セグメント利益	674,872	86,312	761,185	△322,853	438,331

(注) 1. セグメント利益の調整額△322,853千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△325,073千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。